

おったまげコンテスト 36

世界のへんてこ競技会

アンナ・ゴールドフィールド: 文 ハンナ・リオードン: 絵 大西 味: 訳



巨人

すずき出版

もくじ

3 はじめに

4 龍のレース
わざわいに勝つためのレース？

6 跳びガエルコンテスト
ホップ、ステップ、フロッグ？

8 西アフリカの熱狂レスリング
肉体の強さだけでは勝てない？

10 オレンジの戦い
人も道路もオレンジまみれ？

12 チェスボクシング
拳と頭脳で究極のバトル？

14 ヒツジ教え熊接合
眠りにつくためじゃないの？

16 巨大アートコンテスト
小さくなった気分？

18 ハチひげコンテスト
ブンブンなるミツバチのひげ？

20 エクストリーム・アイロニング
アイロンをかけながらスポーツ？

22 美ラクダコンテスト
ラクダのまつ毛はくるくるん？

24 何にもしないコンテスト
かんたんそうだけど……奥が深い？

26 おったまげひげコンテスト
世界最高のイケてるひげ？

28 怪力くらべ
人間はどこまで怪力になれる？

30 つま先レスリング選手権
足の力だけで戦うレスリング？

32 ウサギのショージャンピング大会
ウサギが大会に出場？

34 めるめる木登り大会
登れたら豪華賞品をゲット？

36 泥沼シュノーケリング
まさに泥沼にハマる？

38 冬眠準備コンテスト
太ったものが生きのこる？

40 ラクダのこぶ跳び競争
参加者がこぶをつくりそう？

42 泣きずもう
泣いたほうが勝ち？

44 チーズ転がし祭り
チーズゲットはけがと引きかえ？

46 神話のなかのコンテスト
神々もコンテストが好きだった？

48 古代ギリシャのおったまげゲーム
古代ギリシャ人はパーティー好き？

50 ミミス談い出しコンテスト
もしかして魔法？

52 ランバージャック・チャンピオンシップ
木を切る技術のオリンピック？

54 ゴキレース
この生きものに敬意を表す？

56 エアギター世界選手権
世界平和のため？

58 フン飛ばし競争
世界一ユニークなフンの活用？

60 超高層ビルタイムアタック
86階までかけのぼるの？

62 巨大野菜・果物コンテスト
大きくするのは腕したい？

64 巨大カボチャ・レガッタ
カボチャのクオリティが勝負の決め手？

66 ガーニング世界選手権
変顔をしてみせる？

68 世紀の謎解きコンテスト
だれが何のために彫った？

70 ロバポロ
古代中国で人気だったのはロバ？

72 扇バトル
糸をあやつる格闘技？

74 フードファイト
食べることは戦うこと？

76 用語解説

78 さくいん

訳者あとがき

はじめに

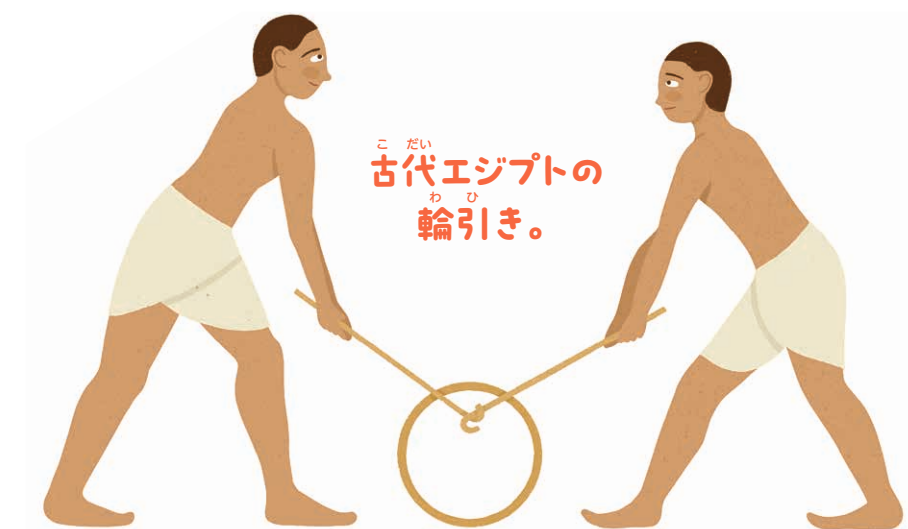
人間はどんなことでも競うのが大好きだと思わない？ ほかの動物たちも、とくにオスどうしはどっちの角がりっぱかとか、力が強いのはどっちかとかでよくバトルするよ。たとえば、ゴクラクチョウのオスは、恋の相手をかけてダンスバトルをする。なんとか気を引きたくて、それはそれは手のこんだ華麗なバトルをするんだ。でもね、バトルのルールを細かく決めておもしろくしたり、勝利のごほうびに工夫をこらしたり、スポーツにしちゃったり、コンテストにしちゃったり、お祭りにして楽しんだりするのは、人間だけだよ。

人間はむかしから競い合ってきた。人類として誕生したころからね。食べものや住む場所をめぐる。外敵から身を守るために。動物たちと、もちろん人間どうしでも知恵くらべや力くらべをしてきた。ルールを決めて競い合うことを楽しむのも、数千年以上の歴史があるよ。そして現代は、世界中の人が、富や名声、純粋な勝利の栄光と誇りをかけて、むかしからのお祭りや競技、むかしはなかった新しいコンテストに挑んでいるよ。

この本には、アイデアと工夫がこらされた、「おったまげコンテスト」がいっぱいだよ。世界中の人々を魅了し、ときには、ありえないほどあきれさせるコンテストをめぐるツアーに、さあ、いっしょに出かけよう！ おもしろそう、やってみたい！ と興味を持ったのなら、将来、どれかのコンテストのトロフィーにみんなの名前が刻まれるかもしれないよ。野菜の栽培をきわめて、巨大キャベツを育てているかもしれない。「ウサギのショージャンピング大会」で優勝するかもしれない。「エアギター世界選手権」ですご技を披露しているかもしれない。可能性は無限大だね！

アンナ・ゴールドフィールド

ゴクラクチョウのオスは恋をかけてダンスバトルをするんだ。



古代エジプトの輪引き。

注意!

子どもだけで試さないで!

この本のコンテストや競技には、危険なものも多くあるよ。

できそうに思えるものでも、自分たちだけで試すのはやめて、

かならずおとなといっしょにしよう。

りゅう 龍のレース

わざわざに勝つためのレース？

ちゅう
中国では、2500年くらい前から、お祭りの一部としてつづいてきたレースがあるよ。「龍のレース」だよ。このレースで使われる舟は、漢字で「龍舟」と書くように、龍の姿をしていて、頭も尾もあるんだ。龍が人を一列に乗せてほえながら進んでいくんだよ。これは、龍のたましいを召喚するレースなんだ。

りゅう こ どう ふね 龍の鼓動で舟をこぐ

舟のいちばん前にすわっている人は、ボートをこがず、太鼓を打ち鳴らすよ。太鼓のリズムは、龍の心臓の音のようだね。こぎ手たちは、その龍の鼓動に息を合わせ、龍になりきってこぐんだ。龍のレースは、ドラゴンボートレースやドラゴンボート選手権などとよばれ、いまでは、中国だけでも何千人の人が参加する国際的なスポーツにもなっているんだ。日本各地にも伝わり、長崎で最初の龍のレースが行われたよ。



りゅう まも 龍の守り

むかしの記録によると、5月5日に龍を喜ばせると、思いもよらぬ災難をさけられるし、農作に必要な雨もたらされるって、信じられていたんだ。また、冬のあいだは身をひそめていた毒を持つ生きものたちが5月になって現れても、龍のレースを行えば、危険から身が守られると信じられていたんだ。



つき こよみ 月の暦

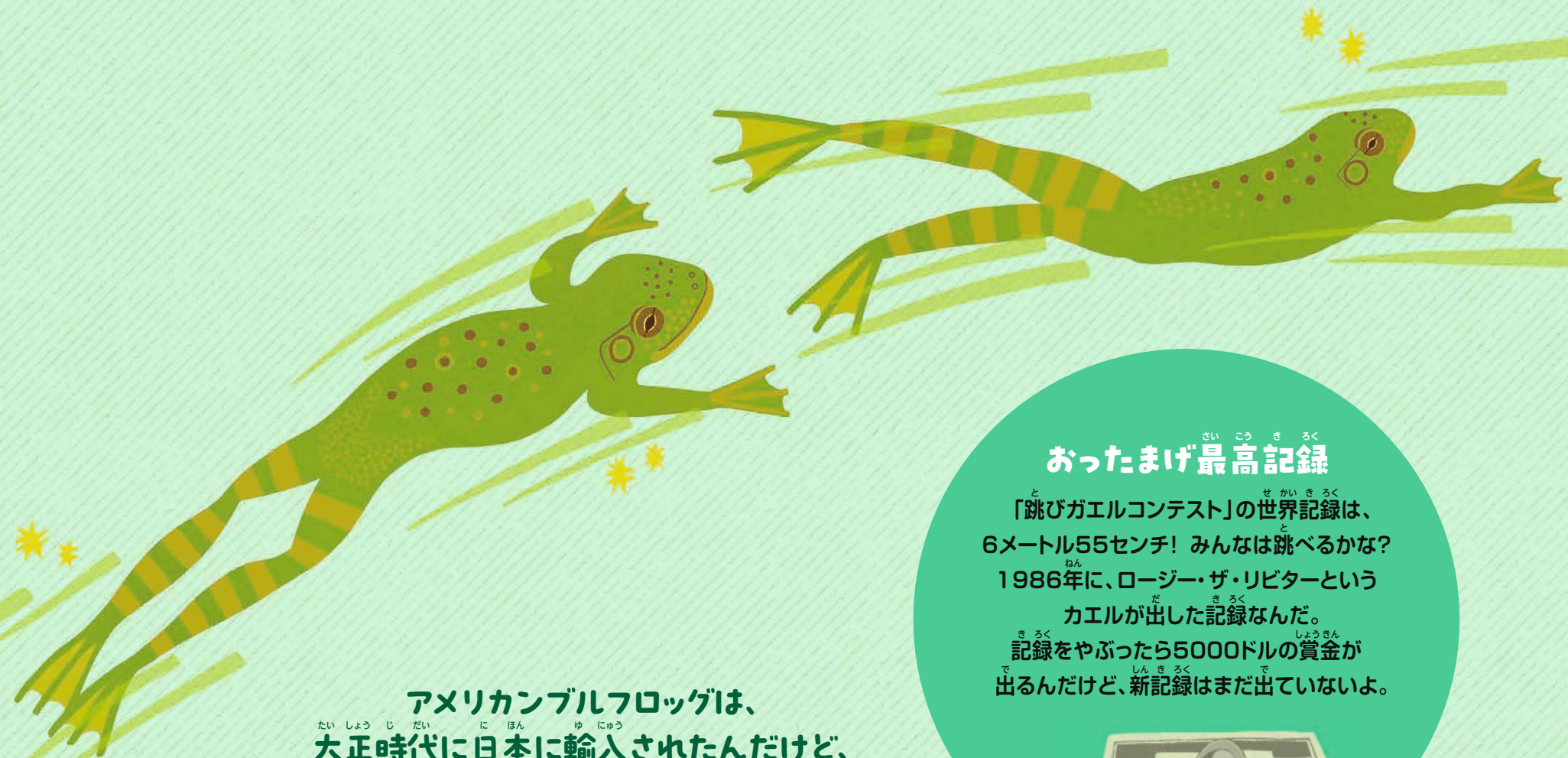
龍のレースが行われる日は、毎年ちよつとずづれるんだ。中国などで使われている暦は、月の満ち欠けをもとにしているからだよ。いろいろな農作物を植える時期を、むかしはわかりやすい月の満ち欠けを見て計算していたんだ。

日本でも、むかし使われていて、旧暦っていうよ。龍の力、月の力も感じながらレースを楽しむのもいいね！



と 跳びガエルコンテスト

ホップ、ステップ、フロック?



アメリカンブルフロッグは、
大正時代に日本に輸入されたんだけど、
ウシのような鳴き声から
ウシガエルってよばれるように
なったんだ。

おったまげ最高記録

「跳びガエルコンテスト」の世界記録は、
6メートル55センチ! みんなは跳べるかな?
1986年に、ロージー・ザ・リビターという
カエルが出した記録なんだ。
記録をやぶったら5000ドルの賞金が
出るんだけど、新記録はまだ出ていないよ。



アメリカ、カリフォルニア州のカラベラス郡と
いうところでは、1928年から毎年、カエル
(英語でフロッグというよ)のジャンプ大会(ジャン
ピング・フロッグ・ジュビリー)が開かれていて、自
慢のカエルをつれた騎手(ジョッキー)たちが集
まるんだ。みんな、これまでの記録をやぶろうと、こ
の日のために特訓をつんできているよ。あ、ジョ
ッキーといっても、もちろんカエルに乗るわけじゃない
から、心配いらないよ。

ジャンプ力を発揮させる

ジョッキーたちは、カエルを激励したり、カエルのうしろで跳びはね
たり、おしりに息をふきかけたり、カエルに大ジャンプをさせるために
いろいろな工夫をこらすんだ。でも、たたいたり、嫌なものをあたえたり、
カエルにストレスをかけることはきびしく禁止されているよ。競技
は、連続3回までのジャンプで跳んだ距離の合計で競うよ。

大会には、この地域にいる種類のカエルしか出場できないんだ。よく
出場するのは、アメリカンブルフロッグという種類のカエルだよ。新記
録を真剣にめざす人は、カエルも自分でつかまえて訓練する。でも、大
会ではカエルをレンタルできるから、だれでも気軽に参加できるよ!

ベストコンディション

カエルはとても大切にされるよ。つかれすぎ
ないように、1日のジャンプの回数には制限があ
るし、カエルがリラックスして出番を待てるよう
に、まわりには落ち着いた音楽も流れているよ。



マーク・トウェイン

カエルのジャンプ大会は、アメリカの
作家、マーク・トウェイン(『ハuckleベ
リー・フィンの冒険』などを書いた人だ
よ)が1865年に書いた『ジム・スマイ
リーと彼のだいな跳び蛙』という短編
小説がきっかけで始まったんだ。その短
編小説の題名は、のちに『キャラベラス
郡の名高き跳び蛙』に変わったんだよ。



よう
養 蜂家の勇氣を試すおったまげなコンテスト
が、中国の湖南省、邵陽市でも開かれているよ。自分の顔やからだに、どれだけたくさんのミツバチを集められるかを競うんだ。参加者は体重計に乗って、ハチが鼻の穴に入ってこないように鼻栓をし、1匹の女王バチを小さなかごに入れてぶらさげる。そして1時間たったら、審査員が集まったハチの重さをはかって勝者を決めるんだ!

はじめミツバチの ひげをつけたのは?

世界ではじめて、無数のミツバチのひげをつけたのは、いまから200年近く前のウクライナのペトロ・プロコポヴィッチという養蜂家だよ。小さなかごに入れた女王バチをあごの下につけておくと、近くにいるたくさんのハチが、顔に集まってきてブンブンなる、みごとなひげができるんだ。

ミツバチの習性

ミツバチのひげは、ミツバチの習性を利用しているんだ。人の顔やからだじゃなく、巣箱でもひげのような形で群がる。巣のなかの空気を循環させて、暑い日でも、巣のなかを涼しく保って、赤ちゃんバチ(幼虫)を守るために換気しているんだ。

ハチひげ コンテスト ブンブンなるミツバチのひげ?

記録に挑戦する人は、世界中にいるよ。
2018年のこと、インドのある青年は、
顔とからだに、6万匹ものミツバチの
ひげをつけたという記録があるんだ。

ハニーガイド

わたしたち人間は、ハチミツが大好きだよね! 英語でハニーガイドってよばれる鳥たちがいて、特別な鳴き声で、ハチの巣がある木まで人を案内してくれることがあるんだ。人間は、煙を使ってハチをおとなしくさせ、ハチミツをとる。いっぽうハニーガイドは、蜜蝋や幼虫を食べるんだよ。



動かないで!

もし、みんなにミツバチがとまったら、じっとして動かないでね。そうすれば、ミツバチは刺さないから。みんなが花ではないとわかったら、ミツバチははなれていくよ。

